

## 2019年5月度情報交換会

日時：2019年5月29日（水）14:00～

### 【発表内容】

1. 「年金ディベート道場！」実践ビデオ「来たれ道場破り!!」紹介
2. 「難民カードゲーム」プロトタイプ紹介！
3. 教員著書紹介 玉井雅隆准教授
4. 質疑応答

(以下、リリースのみ)

5. 阿部公一教授の「公的年金論」で鶴岡社会保険事務所担当者が「年金セミナー」開催
6. 玉井雅隆准教授（国際教養コース）「3大学合同ゼミ」開催について
7. 『2019 People and Sea Conference』（オランダ）での本学学生の発表について
8. 質疑応答後、「難民カードゲーム」メンバーによるゲーム実演デモ

リリース情報に関するお問い合わせ

東北公益文科大学（広報担当）池田、佐藤

TEL) 0234-41-1111 FAX) 0234-41-1133

E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

2019年5月29日  
東北公益文科大学

## 阿部ゼミ学生が「年金ディベート道場！」の 教育用動画を作成しました

この度、阿部公一教授(年金教育、社会保障論、公的年金論)が担当する専門演習(ゼミ)履修の学生(4年生8名)が、全国の高校生に向けて、「年金ディベート道場！」からの挑戦状として、教育用動画を作成しました。作成した動画は、YouTubeの東北公益文科大学公式チャンネルでご覧いただけます。

### ★ ポイント

- ・ 2019年2月に、阿部公一教授が開発した「年金ディベート道場！」の教材に基づいて、ゼミ生が教育用動画を作成しました。
- ・ 動画では、全国の高校生に向けて、「年金ディベート道場！」からの挑戦状(初級編)として、高校生に国民年金(公的年金)に関心を持ってもらうための仕掛けとして、道場破りによる参加を促しています。
- ・ 「国民年金の保険料なんて払ったら損だ！」という論題の下に、肯定側(師範様側)から、「国民年金の保険料負担により生活費が圧迫されるため、保険料なんて払ったら損だ」という立論を展開しています。
- ・ この展開に対して、高校生には否定側の立場から参加してもらうことを仕掛けています(国民年金の良いところや、学生に対する配慮のための制度を学んでもらうことを意図しています)。
- ・ 動画の時間はおよそ8分半です。

お問い合わせ

広報担当 池田

電話) 0234-41-1111(代) 内線 1125

2019年5月29日  
東北公益文科大学

## 「難民カードゲーム」説明・デモについて

国連の難民支援機関 UNHCR の活動を支援することを目的に、2018年3月に国連 UNHCR 協会が主催した学生アイデア・コンペで本学の佐藤巴瑠貴さん(当時3年)がベスト・クリエイティブ賞を受賞しました。そのアイデアを国連 UNHCR 協会からサポートを受け、本学学生が中心となり具現化するプロジェクトを進めてきました。今回、そのゲームがほぼ完成を迎えたので、ゲームについてプロジェクトの学生が説明とデモを行います。

### プロジェクトメンバー

代表の佐藤巴瑠貴(4年)、池田泰基(3年)、今井祐輝(3年)、情野千帆(3年)、森谷樹平(3年)、浦上寧々(2年)、鈴木梨加(2年)、学外メンバーの鈴木康平さんの8名

### 現在の活動

共同研究室 E にて 週一回、木曜日 10:30~12:15 2 限に活動

### 「難民カードゲーム」の内容

「難民カードゲーム」は2名から4名で行うゲーム。ゲームの内容は、A国、B国、C国、D国 4つの国で様々な問題が起き、難民が発生。周辺国であるプレイヤーは難民をできるだけ受入、定住させるか、難民が発生している国の問題を解決し、帰還させるか。または自国に難民を定住させるか政策を決定。ゲームは全てがポイント制。最後に総合ポイントが一番多いプレイヤーが1位となるゲーム。

### ゲームに使用するもの

シート 2種類(自国政策シート、難民受入シート)  
カード 難民対策カード(Ⓐカード) 10種類 50枚  
自国政策カード(Ⓑカード) 4か国分×7枚(レベルごと/レベル1 4枚、レベル2 2枚、レベル3 1枚)  
難民定住カード 5名単位×50枚?  
サイコロ 6面サイコロの場合は2個、12面サイコロの場合は1個  
マーカー 16個(難民状況シートにて使用)

### ゲームのルール

- まず、ボード中央に難民発生シート、難民対策カード(Ⓐカード)を置く。
- さらに、中央に自国政策カード(Ⓑカード)をA国からD国まで各7枚を並べる。
- それぞれのプレイヤーの前には、難民受入状況シートを置く。
- Ⓑカードは政策レベルごとになっており、レベル1からしか使用できない。
- ゲームは、中央にある難民対策カード(Ⓐカード)が無くなるか、10ターンで終了となる。

#### (ゲームの進め方)

- ① プレーヤー各自に、難民対策カード (Aカード) が三枚配られる。
- ② 1 ターン分の予算 5 金(単位は仮)も配られる。
- ③ サイコロを振り (6 面×2、または 12 面×1) 出た目でA国からD国で難民が発生する設定。
- ④ 手持ちのAカードを使用するか判断する。(使用しないこともできる。)
- ⑤ 自国政策カード (Bカード) をBカードを使用し、難民対策の政策を実施し、係る費用をボード中央の置場にプレーヤーが支払う。
- ⑥ 政策実施に係る費用を支払った後、難民対策カード (Aカード) を1枚引く。
- ⑦ 難民を定住させた場合は、難民定住カード (Cカード) を人数に合わせて中央から引く。(5名単位)
- ⑧ これを繰り返す。

#### 今後の計画について

- ・ 現在のゲームは、12月にUNHCR協会に試作品を見せに行った際、修正等のアイデアを頂き、あらたな「難民カードゲーム」として作成。今はそのゲームを最終調整中
- ・ 7月にプロトタイプを完成させ、再度UNHCR協会に報告に行く予定
- ・ ゲームについては、プロトタイプを完成させ、UNHCR協会に企画とあわせ現在のサンプルを納めることで終了とするか、製品化するための完成品モデルまで作るか検討中
- ・ ゲームに使用するカードのイラストや色、カードを長期使用に耐えられるように厚くするなどの費用をクラウドファンディングで行えるか、UNHCR協会と協議、検討中
- ・ 最終的には、できれば当初の企画での目標である、携帯アプリの開発まで行いたいと考えている。

2019年5月29日  
東北公益文科大学

## 東北公益文科大学教員の出版について

### 現代国際関係学叢書第5巻 『国際関係の争点』

本学、国際教養コース 准教授 玉井雅隆が分担執筆した現代国際関係学叢書第5巻『国際関係の争点』が志學社より出版されました。

- ◇ 書籍名：現代国際関係学叢書第5巻『国際関係の争点』
- ◇ 編者：宮脇 昇
- ◇ 分担執筆者：**玉井雅隆（東北公益文科大学准教授）**

- ◇ 発行所：株式会社 志學社
- ◇ 発行日：2019年5月上旬

- ◇ **玉井分担執筆ページ 83-98頁**

#### 「マイノリティの権利と争点化—朝鮮学校学費支援問題を例として」

- ◇ 内容

日本では欧州と異なり、マイノリティ問題は外在化されにくい問題である。特に在日朝鮮人に関する問題では、双方に横たわる歴史問題、政治問題やイデオロギーが複雑に絡み合う問題となってくる。その典型例は朝鮮学校の学費支援問題である。他の外国人学校が日本の高等学校同様実質無償化のための支援がなされている一方で、朝鮮学校のみ拉致問題や教育体制の問題などとも絡んでその支援がなされていない。この問題は当事者の手を離れ、左右のイデオロギー対立の中に埋没してしまっている。

欧州でもマイノリティの教育問題は大きな問題となっている。しかしながら、そのような教育・文化権に関してはマイノリティ問題を人権問題ではなく安全保障問題として捉え、問題の解決を図っている。朝鮮学校学費支援問題に関しても、その問題を人権問題としてとらえるのではなく、日朝間の安全保障問題として捉えることが可能ではないか、と指摘した。

お問い合わせ

広報担当 池田

電話) 0234-41-1119

2019年5月29日  
東北公益文科大学

## 日本年金機構による「年金セミナー」を 東北公益文科大学にて開催致します

この度、政策コース専門科目「公的年金論」(阿部公一教授)の授業では、日本年金機構鶴岡年金事務所より講師をお招きして、履修学生を対象に「年金セミナー」を開催します。

### ★ ポイント

- ・ 「公的年金論」は政策コースの専門科目です。
- ・ 国民年金への加入を啓発するために、「公的年金論」の科目は2年生の春学期(S1クォーター:4/11~6/10)から履修できるようにしています。
- ・ 履修者の大半は20歳未満の学生です(115名履修中80名が2年生)。
- ・ 鶴岡年金事務所には、オプションとして、国民年金への加入手続きや学生納付特例制度(ガクトク)に関して、具体的な手続きを体験する機会を依頼しています。また、機構の業務に関しても、ご紹介頂く予定です。
- ・ 阿部公一ゼミより、7名(累計)の卒業生が日本年金機構に入構しています。

記

○日 時 : 2019年 **5月30日** (木) **17:00~18:45** (5限)

○会 場 : 東北公益文科大学酒田キャンパス

103教室 (教育研究棟1階)

お問い合わせ

広報担当 池田

電話) 0234-41-1111(代) 内線 1125

2019年5月29日  
東北公益文科大学

## 『2019 People and Sea Conference』(オランダ)での 本学学生の発表に関して

この度、オランダ アムステルダムで開催される『2019 People and Sea Conference』において樋口ゼミの学生4名が発表することとなりました。

樋口ゼミでは、国際法・国際政策に取り組んでおり、今回は海洋ごみ問題についてゼミ生7名のうち4名が代表として参加、発表します。(使用言語/英語)

### (会議名・開催地)

『2019 People and Sea Conference』(オランダ アムステルダム(アムステルダム大学))

### (期 間)

2019年6月25日(火)～28日(金)

### (発表テーマ)

「新たな海洋ごみ問題のために、  
既存の関係者ネットワークをどう改善していくのか」

### (発表概要)

海洋ごみ問題について、山形県の漂着物処理に関するこれまでの取組みを紹介し、さらにマイクロプラスチックなど、新たな問題に対処するために、どのように既存のネットワークを改善していく必要があるのか、企業との連携などについて提案します。

### (発表について)

発表、提案内容については、樋口ゼミにおいて、海洋政策的な立場から、マイクロプラスチック対策の現状を話し合い、既存の解決策を掘り起こし、これからの課題について考えました。この会議での発表には、これらのゼミでの議論の結果を反映させます。

### (ゼミメンバー(50音順))※今回発表の代表者4名は(○)

- 3年 小林 亮太 (こばやし りょうた) (○)
- 3年 齋藤 貴裕 (さいとう たかひろ)
- 3年 白幡 幸大 (しらはた こうた) (○)
- 3年 住友 勇 (すみとも ゆう)
- 3年 大道寺 美里 (だいどうじ みさと) (○)
- 3年 橋本 蘭丸 (はしもと らんまる)
- 3年 吉田 桐麻 (よしだ とうま) (○)